

# 農作物技術情報 第9号 畑作物

発行日 令和2年 11月 26日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコン、携帯電話から「<https://i-agri.net/Index/gate002>」

- ◆ 小麦 生育は順調で、越冬前の生育量は十分に確保されています。雪腐病の発生量は「やや多」と予想されていますので、雪腐病の常発地帯では、雪腐病防除を根雪前に行いましょう。越冬後の融雪対策のため排水路の点検、整備を行いましょう。

## 小麦

### 1 生育状況

播種時の天候に恵まれ、その後も気温が高く推移したことから旺盛な生育となっています。うね間が見えなくなっているところや、草丈が長い圃場が散見されます。越冬前の生育量を十分に確保している圃場が多いので、積極的に踏圧作業を行いましょう。

越冬前の生育量は小麦の収量に大きく影響します。現在の順調な生育を維持しつつ、越冬後は速やかに追肥作業や踏圧作業が適期に実施できるよう、排水対策を万全にしておきましょう。

### 2 雪腐病の防除

農作物病虫害発生予察情報第7号（令和2年11月4日発行）によると、雪腐病の発生量は「やや多」と予想されています。県北部や高標高地帯など、根雪期間が長い地域や、耐雪性が「やや弱」の「銀河のちから」では被害が出やすいので、雪腐病防除を行ってください。雪腐病の防除時期は根雪前が最も有効とされていますが、根雪になる時期は年によって変動が大きいので、散布時期を逃さないよう注意が必要です。薬剤等の情報は農作物技術情報第8号に掲載しておりますのでご覧ください。



写真1 雪腐褐色小粒菌核病の被害圃場

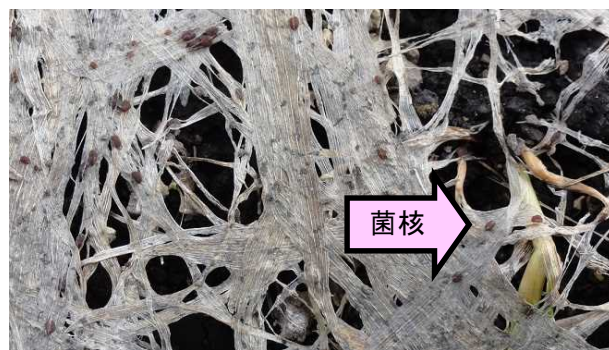


写真2 雪腐褐色小粒菌核病の拡大写真

### 3 排水路の点検

越冬後の融雪水の滞水による湿害等を防ぐため、根雪前に明渠や排水路の点検・整備を行います。土塊等で塞がっている場合は撤去して、スムーズに排水が行われるようにしてください。

越冬後の圃場排水を促進することで、融雪期の追肥作業等が適期に実施できるようになります。

※冬期間は暗渠の水閘を閉じておきます。融雪水がたまったら水閘を開き、一気に水を流すことで、堆積した水垢や土砂を押し出すことができます。また、暗渠排水口が排水路に溜まった泥のなかに埋まったり、排水路の水面より下に水没していると、吸水管からの排水が抜けづらくなりますので、排水路の清掃も適切に行ってください。暗渠排水管が詰まらないような定期的な清掃が必要です。

### 4 積雪期間中の注意

小麦栽培では、積雪期間中に、特に行う作業はありません。雪解けが近づいたら、越冬後の作業スケジュール・内容を早いうちから計画しますが、積雪している圃場は滑りやすい上に、水路等の確認が難しく危険です。事故防止のため、必要時以外は立ち入らないようにしてください。

農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となりますが、気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。